

科目名	担当教員名	授業形態	単位数	資格	大学 DP	学科 DP	学習成果
都市計画論	小野寺 一成	講義	2	建築士	1, 2, 3	3, 4	1, 2, 3, 4
授業概要 授業目的	都市計画の歴史を知るとともに、都市計画の目的、計画策定過程、計画における考え方、及び手法などの講義を理解した上で、都市計画の具体的な内容や手続きに関する基礎的知識を身に付けること、また、都市を形づくる建築形態規制、地区計画、景観計画、防災計画などの講義も理解することを目的とする。						
到達目標	広域都市計画の必要性や持続可能な都市づくり、住民参加のまちづくりなど、今後の都市計画の課題を考察できる知識を身につけることを目標とする。						
回	学習内容						
1	ガイダンス：講義内容、講義スケジュール、都市計画概要						
2	都市計画とは						
3	都市及び都市計画の歴史						
4	都市計画マスタープラン、コンパクトシティ						
5	住宅地、商業地、工業地等の土地利用計画						
6	道路、公園など都市施設整備計画						
7	市街地整備事業計画						
8	講義前半のまとめと中間試験						
9	アジアのまちづくり、アジアの都市居住						
10	地区計画						
11	景観計画						
12	防災計画						
13	住民参加と都市計画						
14	今後の都市づくりと都市計画の課題						
15	全講義のまとめと試験						
予習内容 復習内容	予習：各講義のテーマに関連した文献や講義中に示した参考文献などに目を通しておくこと。 復習：毎回配布する資料を復習するとともに、講義の重要なキーワードを理解しておくこと。						
教科書	テキストは使用しない。基本的には、Power Point を使用した講義。ppt 資料などを配布。 テーマによっては、DVD 教材などの視聴覚教材の利用。参考文献などは講義中に提示。						
成績評価	中間試験(40%)、試験(50%)、講義後小レポート(10%)をあわせて評価。 1/3 を超えて欠席した場合は評価の対象外、遅刻 3 回で 1 回の欠席とみなす。						
実務経験	都市計画事務所に勤務し、市町村総合計画、都市計画マスタープラン、住環境整備計画、地区計画、公営住宅統廃合計画などを策定したほか、住環境整備事業や公営住宅建替事業等に参画。 授業では、これらの実務経験を活かした実践的な調査研究、計画・設計力の養成に努める。						
その他 特記事項	授業の最後に、当日行った講義の重要なキーワードの回答を求める簡単な講義後小レポート(A6判)を予定。						